

甲子園出場を目指す野球部エースピッチャーS君の施術例

4月10日



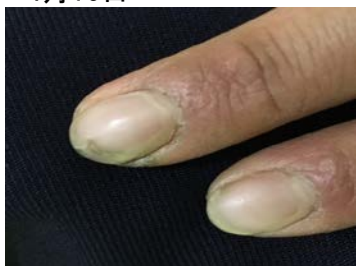
中指左先端に血豆ができ、爪も血豆の影響で割れてしまった。
人差し指の両側にも1.5mmの亀裂が見れる。
このままの状態では、通常の投球はできないため、戦力外になってしまう。



中指は地爪が欠けた部分の長さを足して、全体をジェル補強。
人差し指は亀裂部分にシルクを貼った後、全体をジェル補強。
目立たないようにマット仕上げ。

1日200~300球投げこむため、通常のおしゃれネイルよりも厚めにジェル補強。
厚すぎても地爪に負荷がかかるため、バランスを見ながら。

4月16日



両指とも、周りが浮いている。浮いた部分を削り、長さを整えジェル補強。

5月7日



亀裂部分が減ってきた。
1日2〜3回爪専用オイルを使って
のS君のお手入れの成果！



血豆もかなり治ってきている。

5月26日



最初の施術から8週弱。
欠けた部分が伸びそろい、長さを
足す必要がなくなった。



血豆もほとんど気にならない。



中指の爪の欠け、人差し指の亀裂がなくなった後も、S君と相談の上、夏の大会が
終わるまで予防策としてジェル補強を施しました。

・ 施術プラン



S君の施術は、練習や試合の日程を見ながら計画しました。単に定期的に施術するのではなく、その間の練習内容や投球数、疲労の加減など様々な要素を考慮して、S君とご家族と決めました。

練習は夕方遅くまであるので、施術はいつも21時以降。お父様の運転で片道1時間以上かけて、約5か月もの間頑張って通って下さいました！

亀裂がすっかり治った後も、二度とこんな思いはしたくない！と、大会が終わるまでジェル補強を続け爪を保護しました。

大会が終わり、ジェル補強を卒業される最後の施術の日は、甲子園を目指して共に闘った想いで胸が熱くなりました。

・ ラインでの爪の状態の把握

お客様を見させていただいている間は、どんな小さな不安や心配事も解決するのもネイルナーの役目。5か月間、毎日のようにラインで写真を送っていただき爪の状態を確認しました

甲子園の県予選がテレビで放送される日は、爪は大丈夫だろうか？とテレビにかじりついていました。S君が右手を見るたびに冷や汗。もしや、ジェル補強がとれてしまったのだろう！試合後すぐに確認のラインを入れます。

S君の甲子園出場にける思いに応えるために！

